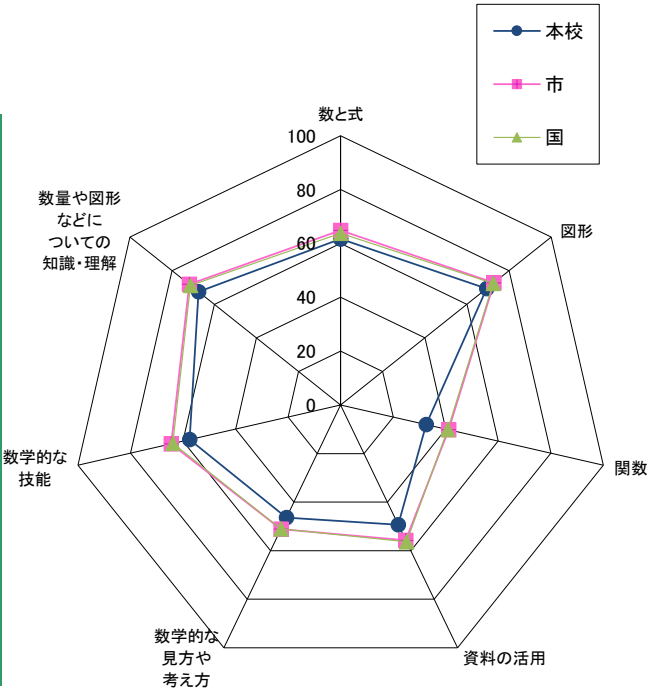


宇都宮市立鬼怒中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国, 市と本校の状況

【数学】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と式	61.7	64.9	63.8
	図形	69.3	72.8	72.4
	関数	32.6	41.1	40.8
	資料の活用	49.3	55.7	56.3
観点	数学への関心・意欲・態度			
	数学的な見方や考え方	46.4	51.1	51.0
	数学的な技能	57.5	64.5	63.9
	数量や図形などについての知識・理解	67.5	71.9	71.3



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○正負の計算, 連立方程式を解く問題や文字を使って説明する問題の正答率が高かった。 ●式を変形した理由を書いたり, 式の意味を答える問題の正答率が低かった。	・計算問題は繰り返し問題を解くことで, 慣れるようにする。 ・長い問題を読み, 意味を理解することが苦手な生徒が多い。問題の大切な箇所の下線をひいたりしながら, 何を聞かれているか把握するように促していく。
図形	○平行移動に関する問題では, 正答率が高かった。 ●三角形の合同条件を答える問題では, 正答率が低かった。	・どのような条件の時に三角形が合同になるのかを, もう一度確認する。順を追って, 論理的に結論を導くために, 段階ごとに確認しながら, 丁寧に指導をする。
関数	●関数の問題はすべて正答率が低く, 特に反比例の表から式を求める問題で特に正答率が低い。	・それぞれの関数の表, 式, グラフの特徴を理解し, 関連性を確認しながら, お互いに変換できるようにする。
資料の活用	●硬貨を2枚投げたとき2枚とも表が出る確率を求める問題や, 読んだ本の冊数の最頻値を求める問題など, すべて正答率が低かった。	・確率の問題では, 樹形図の書き方を確認し, 確率の求め方につなげるようにする。 ・代表値の意味を確認し, どのような時にそれぞれの代表値を使うべきかを判断できるようにする。